

# ピノッキオ の世界展

その誕生から現代まで

2004年  
4月9日[金] - 5月9日[日]

- 休館日=月曜日  
ただし、5月3日(月・祝)は開館、5月6日(木)は休館
- 開館時間  
火～金曜日(午前9時30分～午後7時)  
土・日曜日・祝日(午前9時30分～午後5時)  
入室はいずれも閉館30分前まで  
初日は午前10時開展式
- 入場料  
一般 600円(480円)  
高大生 400円(320円)  
小中生 200円(160円)
- \* ( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金  
前売りは美術館1階受付にて販売
- \* 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)  
身体障害者手帳・療育手帳または  
精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
- \* 会期中の土曜日は小・中・高生入場無料



Fondazione Nazionale Carlo Collodi



*C. Chiostri  
Firenze*

カルロ・キオストリ「カルロ・コッローディ『ピノッキオの冒険』  
(1901)挿絵原画」(1901頃)イタリア、フィレンツェ、ジュンティ出版社  
歴史資料室蔵 ©Giunti Editore, Firenze, Italy

MOSTRA SU PINOCCHIO  
-dalla sua nascita fino ad oggi-

主催/高松市美術館 読売新聞大阪本社 美術館連絡協議会 西日本放送 イタリア文化省フィレンツェ地区美術館特別監督局  
後援/イタリア大使館 国立カルロ・コッローディ財団 イタリア政府観光局(E.N.I.T.)  
協賛/花王株式会社 協力/JAL日本航空 企画協力/R&Fインターナショナル



Takamatsu City Museum of Art

高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
Tel.087-823-1711

サンポトピア2004

サンポトピア高松ランドオープン記念事業 協賛事業



エンリコ・マッツァンティ「カルロ・コッローティ『ピノッキオの冒険』(1883)挿絵原画」(1883頃)イタリア、フィレンツェ、ジュンティ出版社歴史資料室蔵  
By kind permission of Giunti Editore, Firenze, Italy



カルロ・キオストリ「カルロ・コッローティ『ピノッキオの冒険』(1901)挿絵原画」(1901頃)イタリア、フィレンツェ、ジュンティ出版社歴史資料室蔵  
©Giunti Editore, Firenze, Italy



アッティリオ・ムッシーノ「カルロ・コッローティ『ピノッキオの冒険』(1910-11)挿絵原画」(1910頃)イタリア、フィレンツェ、ジュンティ出版社歴史資料室蔵 ©Giunti Editore, Firenze, Italy



シルヴェストロ・レーガ「料理人」(1872-73)フィレンツェ、個人蔵

不朽の名作童話「ピノッキオの冒険」は1883年のイタリアで生まれました。ジャーナリスト・演劇評論家として活躍したイタリアのカルロ・コッローティ(1826-1890)が子供新聞に36回にわたり連載した「ある操り人形のお話」(1881-1883)を、1883年に「ピノッキオの冒険」という1冊の本にまとめ出版したのです。

いたずら者の木の人形・ピノッキオが家を出し、悪の道に引きずり込まれそうになりながらも、ジェッペットじいさんの愛により、人間の心に目覚めるといってお馴染みのストーリー。1861年のイタリア統一から20年後という時代の大きな変わり目の世相を背景に、舞台となったトスカーナ地方の文化や、さまざまな風刺や教訓を織り交ぜて書かれたこの物語は、世界中の子供たちを魅了し、日本でも大正時代以降、翻訳され読み継がれてきました。

本展は、そのほとんどが世界で初公開となる初版本の挿絵原画をはじめ、ピノッキオが発表された当時の子供新聞、操り人形、ピノッキオが生まれた19世紀後半のイタリアの子供や家庭など庶民生活を描いた絵画、さらには本展によせてイタリアを代表する現代作家であるミモ・パラディーノ(1948-)が制作した現代のピノッキオまで、約200点で構成されます。子供たちだけでなく、昔子供だった大人も楽しめる内容で、文学、美術、社会など様々な観点から「ピノッキオ」を再発見します。

## MOSTRA SU PINOCCHIO -dalla sua nascita fino ad oggi-

### 「ピノッキオの世界展」関連イベント

- 記念講演会「ピノッキオを追いかけて」講師:大岡 玲(おおおか・あきら/作家)  
5月1日(土)午後2時より1階講堂にて/開場午後1時30分  
定員先着200名/入場無料
- \*「新訳 ピノッキオの冒険」(角川文庫・2003年)の翻訳をされた大岡 玲氏に、同書の魅力をお話いただきます。聞き手:水野奈保子(日伊文化交流サロン「アッティコ」主宰者)
- 映画「ピノッキオ」(監督ロベルト・ベニーニ/2002年)上映会  
5月2日(日)・3日(月・祝)・4日(火・祝) 各日午後1時より1階講堂にて(111分)/定員先着100名/入場無料

### ギャラリートーク(観覧券が必要)

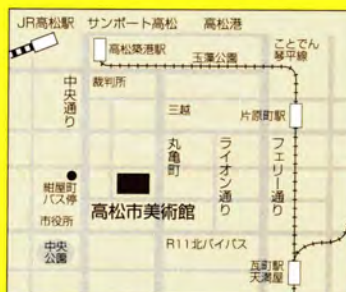
- 当館学芸員によるギャラリートーク  
4月10日(土)午後2時より2階展示室にて
- 美術館ボランティアcivi(シヴィ)によるギャラリートーク  
会期中の日曜日・祝日 午前11時～午後2時・1日2回  
2階展示室にて

### アートで遊ぼう!(鑑賞プログラム)

- 5月8日(土)/5月22日(土)/6月12日(土)  
対象:小学3～6年生 定員15名(先着順)  
◎3回連続で受講して下さい。申込は美術館受付または電話で。

### 常設展のお知らせ

- 第1期常設展4月3日(土)～5月23日(日)  
\*特別展のチケットでご覧いただけます。



### 交通のご案内

- JR四国—JR高松駅下車、南へ徒歩15分
- ことでん—互町駅・片原町駅下車、徒歩10分
- バス路線—(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車、徒歩3分
- 駐車 場—美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)



フランチェスコ・ジョーリ「田園にて」(1894頃)フィレンツェ、ピッティ宮殿近代美術館蔵



ミンモ・パラディーノ「カルロ・コッローティ『ピノッキオの冒険』のための挿絵原画」(2003) © Mimmo Paladino, 2004-2005